美人妻に種付けするお仕事

あなたの子種で孕ませて！

ピンポーン
ハーイ、
お待ち下さーい
ガチャッ
はじめまして
私、子作り促進課の
東條と申します
あ、どうも
高山です
今日はよろしく
お願いします
あの今日は3人同時に
ご予約いただいていると
お聞きしましたが
あ、あとの2人は
すぐ来ると思うので
・・・どうぞお入り
ください

しかし奥さんのような美人を担当できて私はついてますよ。
カチャ
あら お上手ね 東條さんたら
カチャ
2人目を作るのに主人が消極的で困ってて〜
ビンッ
ビンッ
お任せください そういう時の為の我々ですからね
きゃ・・・ッ!!
ぐいっ

うそ・・・そんな
いきなりー!?
ずりっ
プニュッ
一発でも多く
奥さんの子宮に
たっぷり出したい
ので・・・・
ズニュッ
ああ・・・っ
くううッ
必ず・・・
孕ませて
みせますよ
ああ、すみません
奥さんのお尻があまりにも
おいしそうだったので
つい・・・・
あ・・・・お願い
はじめのうちは
ゆっくり・・・・
すっ
すっ
すっ
すっ
すっ
すっ

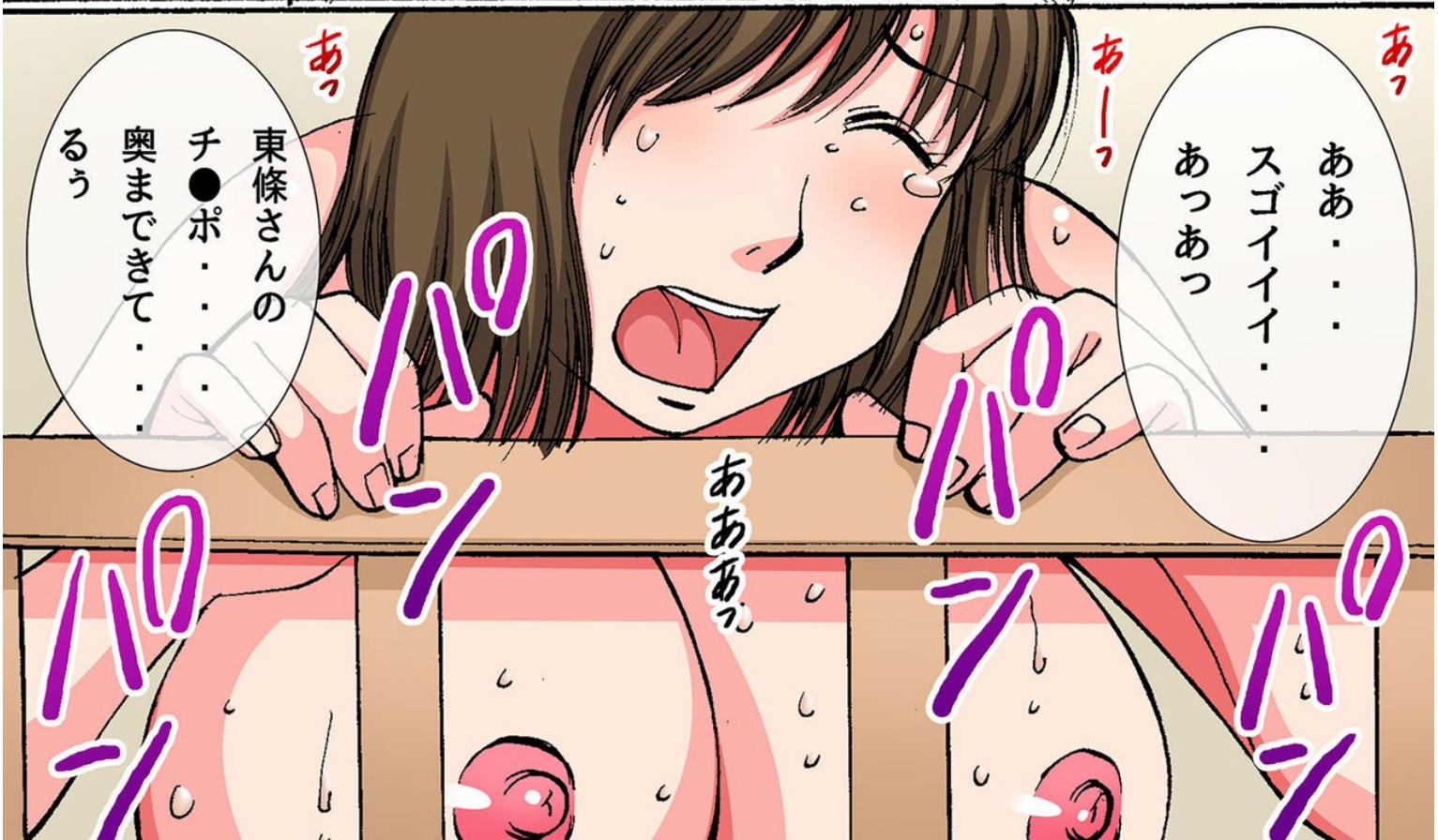
ご主人と最後にしたのはいつですか？
グイッ
主人とはその・・・1人目ができて以来なにも・・・・
あーだからこんなに乳首がとんでもなく勃起してるんですね
ぽろっ
ううッ
こんなキツくてヌルヌルの肉穴をほっとくなんて
ズチュッ
んっ
一体ご主人は何を考えているのやら
グチョ
ズルッ
あんっ
あう
ズチュッ
あッ
グチュルッ
ズッ
んうっ

揉むたびにダラダラと
滴り落ちる母乳・・・
いやらしすぎて
腰を振るスピードが速く
なっちゃいますよ奥さん
ん・・・うっ
むううッ
ふむうっ
んちゅっ
ちょっとつまむだけで
こんなに飛び散る
なんて・・・・
ぴゅっ
あっ
ぴゅーーっ
あああン
ヤダ・・・あっ
恥ずかしいー

あ・・・っ
んっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
ご主人と私のチンポ・・・
どっちが気持ちイイですか？
どうですかね
奥さん・・・・
うあぁっ
あうっ
ひっ

はっ
はっ
はっ
はっ
はっ
どっ・・・どっちが
イイとかそういうの
・・・・
あたしはよく
分からないし・・・・
あの・・・その・・・
本当ですかァ
奥さん～？
キュウーッ
あっひいいいっ

自分で腰クネらせ
ながらギチギチに
締め付けてくる・・・
このドスケベな肉穴は
ご主人様のチ●ポより
私のチ●ポの方が好きって
言ってるように思えますがねぇ
ズコ
ズコ
ズコ
ズコ
ズコ
んふっ
あっ
イッ
ひいッ
あーッ！


あっ
ああ・・・
スゴイイイ・・・
あっあっ
あーっ
あっ
東條さんの
チ●ポ・・・・・
奥まできて・・・
るぅ
パン
パン
パン
パン
あああっ

奥さんのこのおマ●コに・・・・
はっ
はっ
はっ
あ・・・・・
はあああ・・・
あッ
んっ
そろそろ・・・
イキますよ
やっ
ひ
あう
ズルッ
ズチュッ
ズボッ
イキがよくて濃厚な私の精子をたっぷり出させていただきます
くううッ
チュルルッ
あん
ちゅぼっ
ずるっ
あっ
ずぶっ
ちゅむっ
ずるっ
あん
あーッ

う・・・・・
ううっ
あ・・・
ビュッ
ビュッビュッ
ビュッビュッビューッ
は・・ああああー
ああ・・・んっ
あっ、あつい・・・
びゅ・・・っ
びゅるっ
びゅっ
ぶぴゅぴゅ～っ

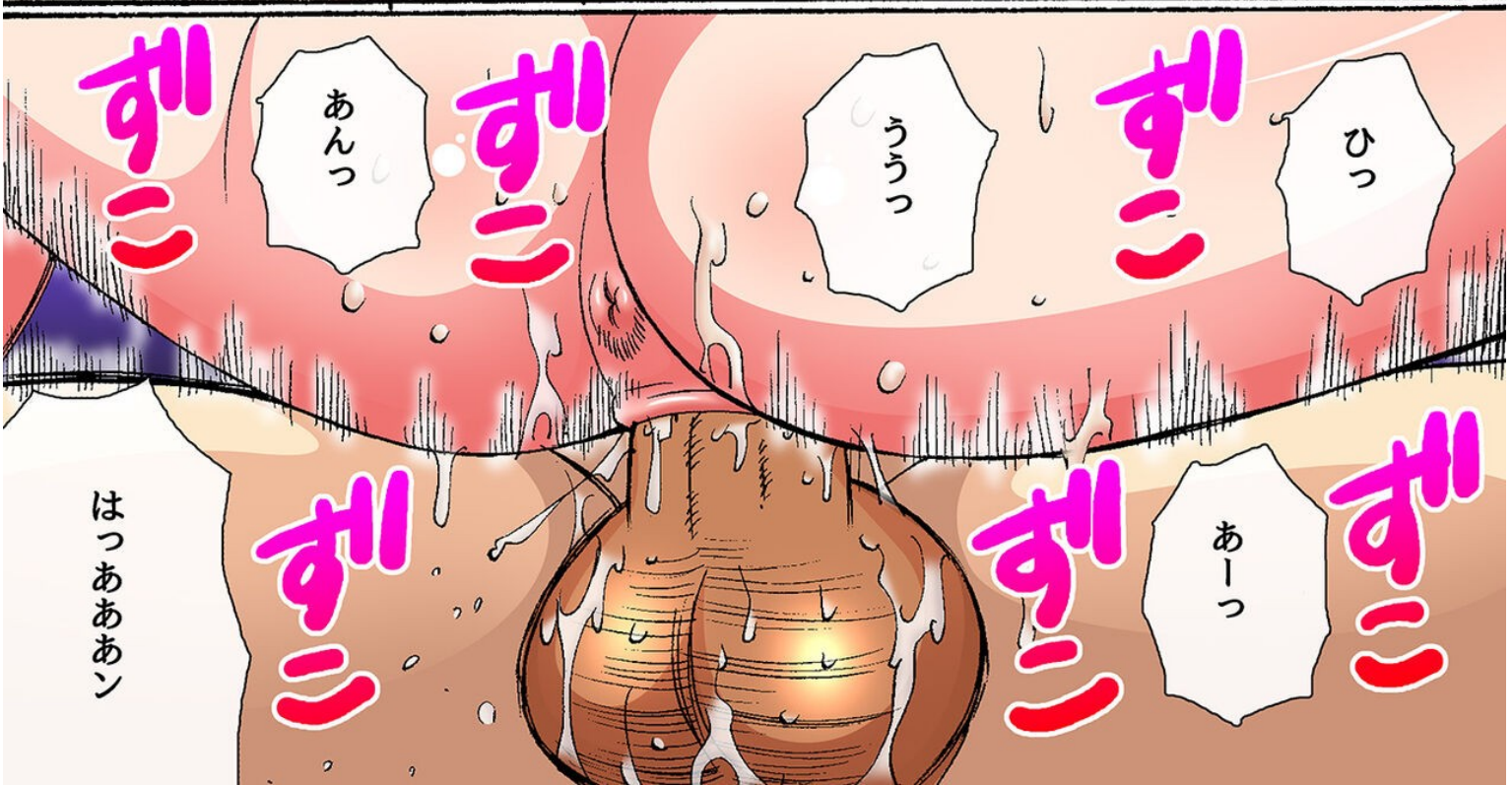
ずるっ…
ん・・・ううッ
ハア
ハア
ぽたっ
ぽたっ
ハア
ハア
ぽたっ
はあ
はあ
はあ
どうですか
奥さん・・・
くぱぁ
あ、すみません
あまりに大量に
中出ししたのでまだ
逆流が止まりません
どろーっ

奥さんのマン汁と
私の精子でベトベトに
なってしまったので
びくっ
びくんっ
ちょっと・・・
奥さんの口でキレイに
してくれませんか？
す、すごい・・
こんなモノが
入っていたなんて
はあ
はあ
はあ
主人のモノなんて
とても比べ物に
ならないわ・・・
ちゅ…っ
はあ
ずっ
ちゅぷっ
むうっ
んっ
ちゅるるっ
いいですよォ
奥さんすばらしい
舌使いだ・・・
むううっ
んくっ
ああっダメ
大きすぎて口に
入り切らない・・・
すちゅるっ

これにまた激しく
突かれると思うと
・・・・
れろっ
れろっ
れろっ
れろっ
いけない・・ああっ
さっきより興奮
してきちゃった
はあ
はあ
はあ
はあ
ビクッ
ビクッ
上のお口でキレイに
したものを下のお口に
ハメますね
ああ・・っ
ベタ
ベタ

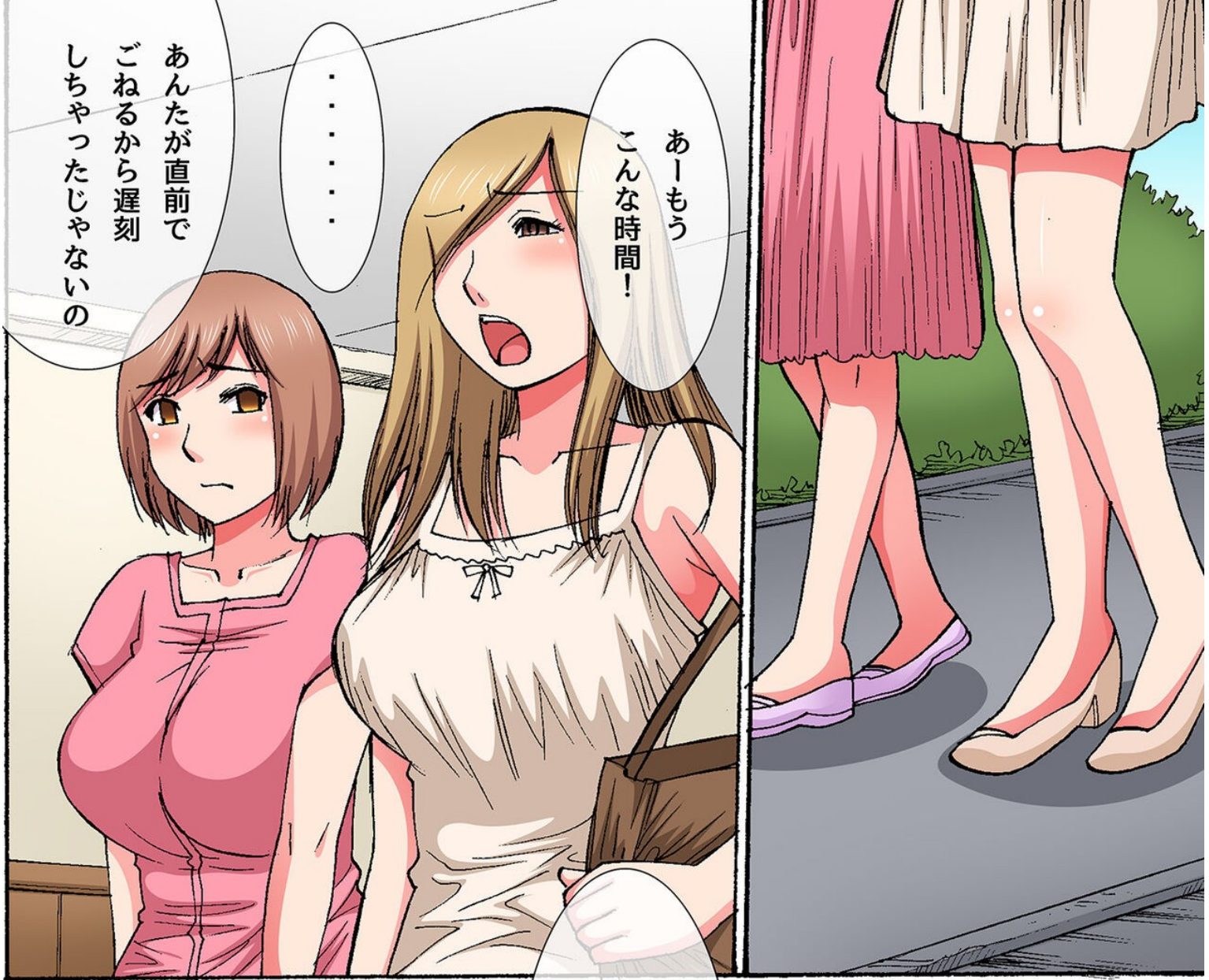
ぐ〜っ……
ぐにぃ
私も興奮して
さっきより
大きくなってますが
マ●コ拡がって
しまったら
スミマセン・・・
ズ…ッ
・・・っあ
あっ
んあっ
ああああッ
ズズッ
ズッ
ズルッ
ズズッ
ズルルッ
あんっ
ふうッ

ん～うまい・・・
ほのかな甘みが
たまらないですね
いや・・あん
ちゅっ
ちゅるっ
ちゅっ
ちゅるっ
ちゅうううっ
ちゅっ
ちゅぱっ
そんな・・あっ
下品な音立てて
吸わないで・・はんっ
きゃうッ
ツンッ
ずちゅるるっ

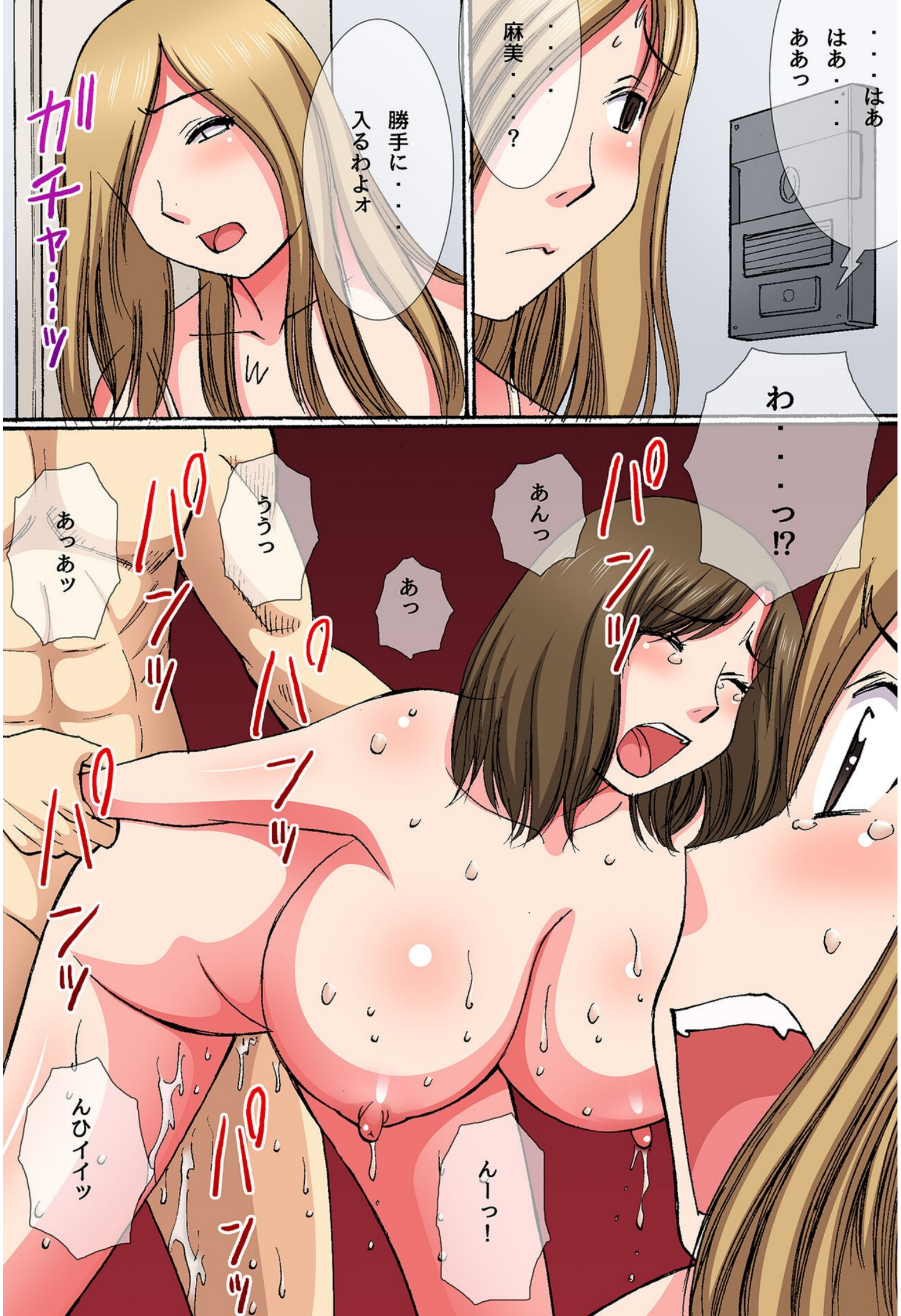

ひっ
ずこ
うぅっ
ずこ
あんっ
ずこ
あーっ
ずこ
ずこ
はっあああん

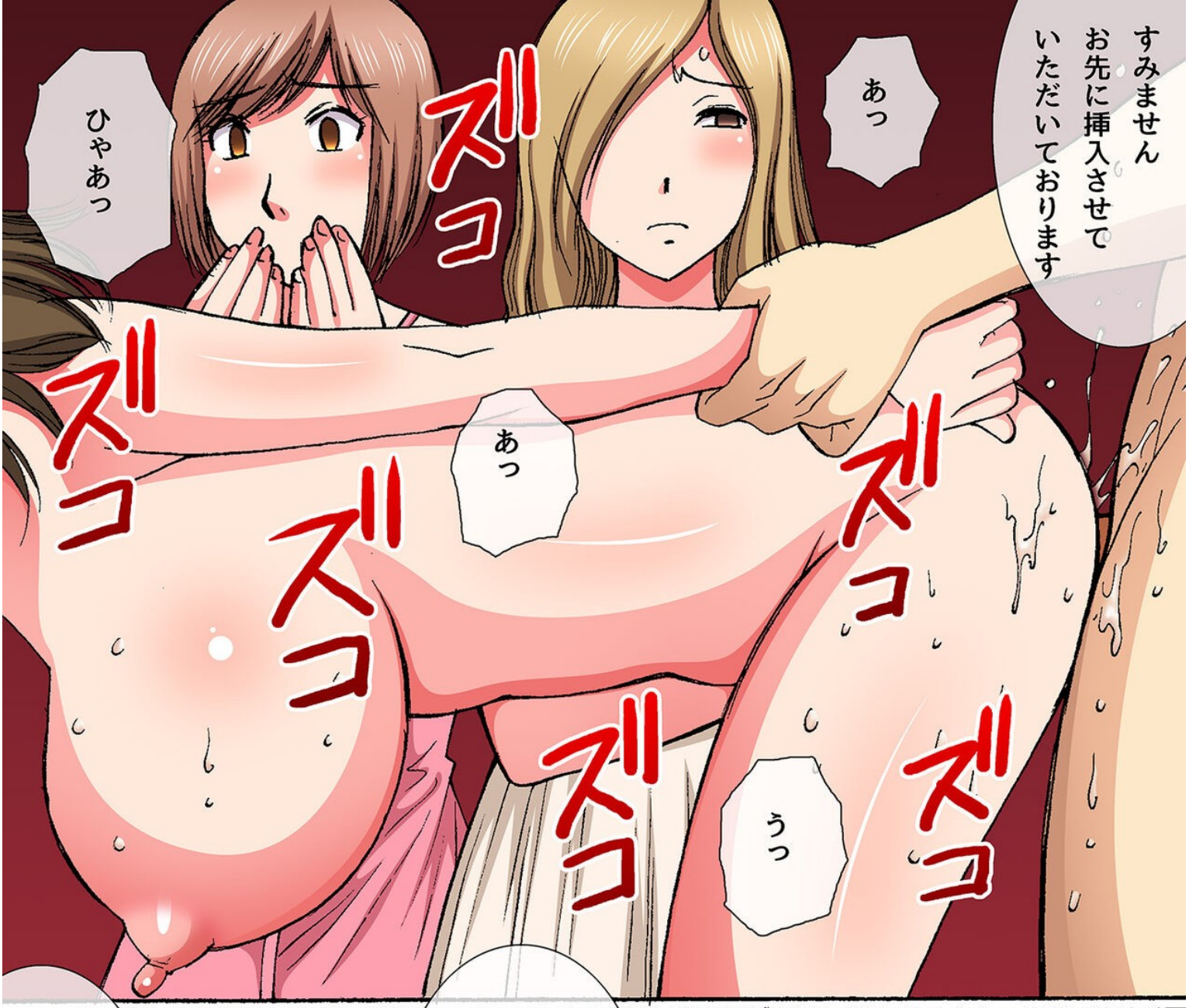
あの写真に写ってるのはご主人・・・？
え・・・あ
はい　そうです
なんか見られているようで気が引けますよね
ちゅっ
ちゅっ
え・・・？
だって・・・
そうでしょう？
ヌルッ
んっふ
ああっ
あうぅっ
ズチョッ
ひいいっ
ズヌッ
グチョッ
グチュププッ
出し入れしている部分を
見せ付けて最後には
大量の精子を生中出し
されるんですよ
母乳まみれの乳房をあらわにして
大股開いて他の男のチ●ポを
ハメさせて・・・

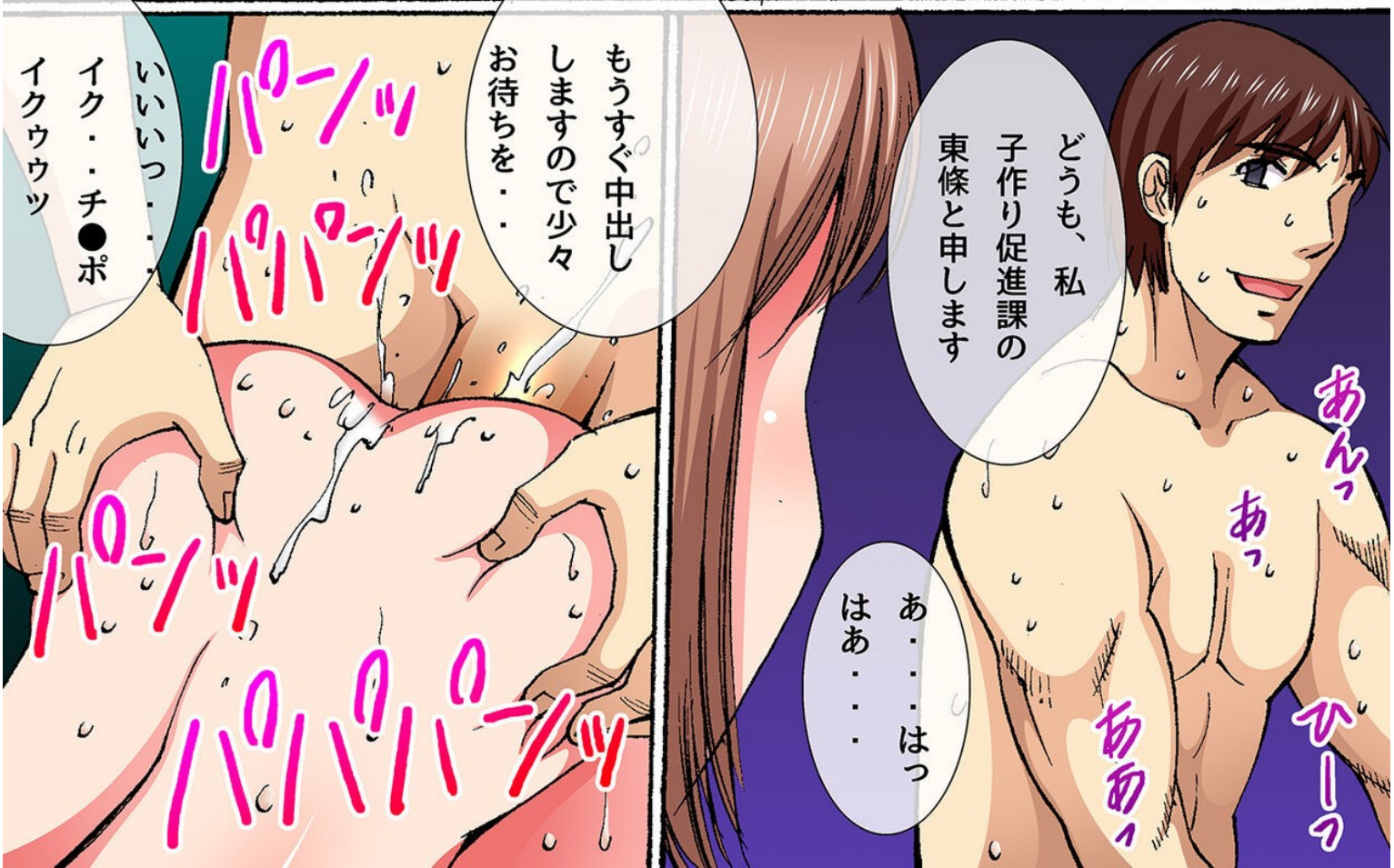
ああ・・・やめて
そんないじわる
言わないで・・・
すっ
すっ
そう言いながらも
マ●コがいまキュッて
締りましたよ奥さん・・
すっ
すっ
すっ
私も・・いつになく
興奮してきました
ハッ
ハッ
ハッ
とっ・・・・
東條さ・・・ん
んっぁ
あうう
んひっ
くううっ
んちゅっ
すっ
ちゅるるっ
すっ
ちゅぷっ


あーもう
こんな時間！
・・・・・・
あんたが直前で
ごねるから遅刻
しちゃったじゃないの

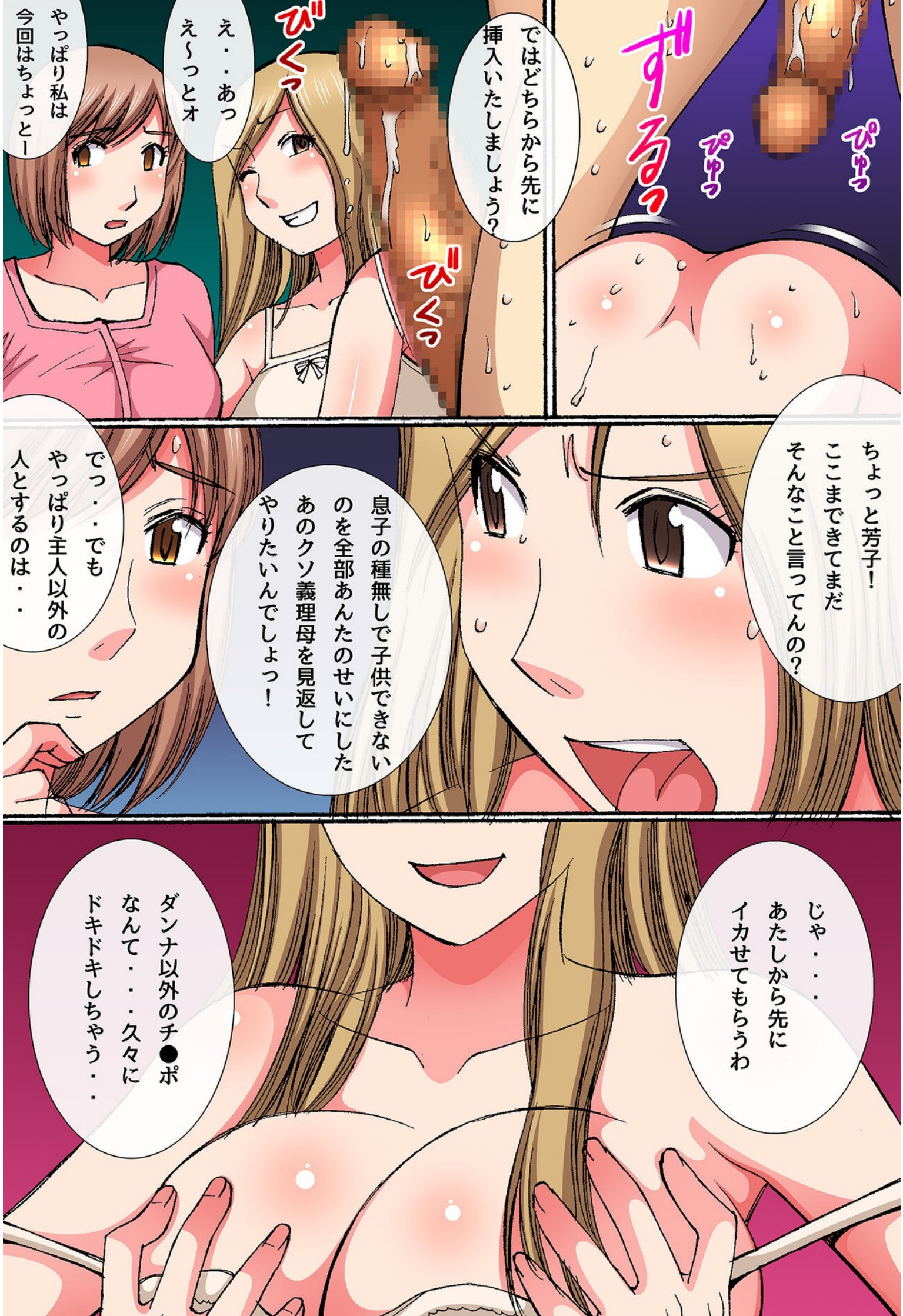
だって・・やっぱり
よくないんじゃないかと
思って・・・
勘弁してよぉ
言い出しっぺはあんたでしょ
いいから行くのよ
ピンポーン
・・・はっ
はい・・・あっ
おくれてゴメーン
あたしよ、あたし
ケイ子と芳子！

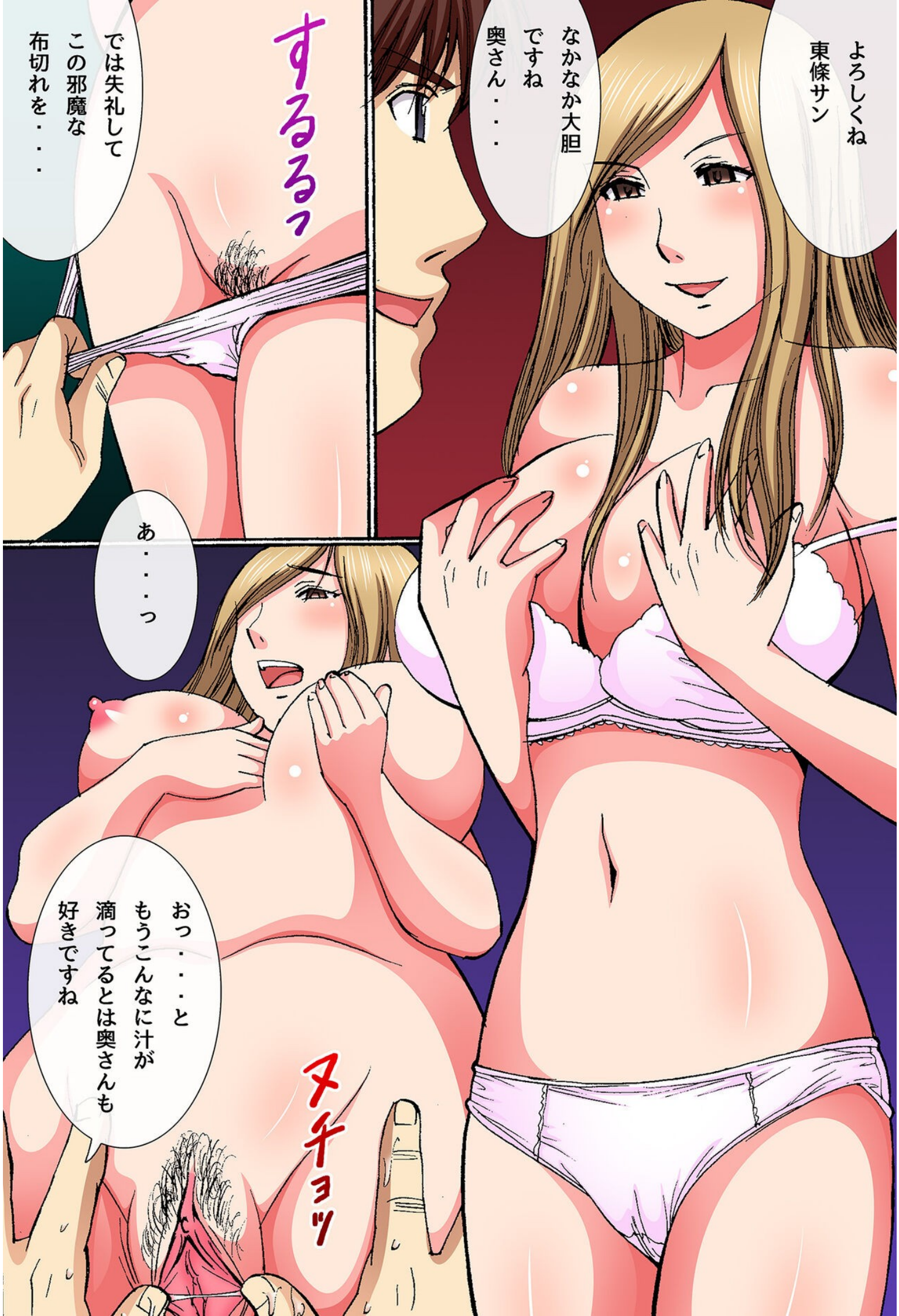

・・・はあ
はあ・・・
ああっ
麻美・・・・?
・・・・
勝手に・・・
入るわよオ
ガチャ・・・ッ
わ・・・っ!?
パンッ
あんっ
あっ
パンッ
ううっ
あっあッ
パンッ
パンッ
んーっ!
パンッ
んひイイッ

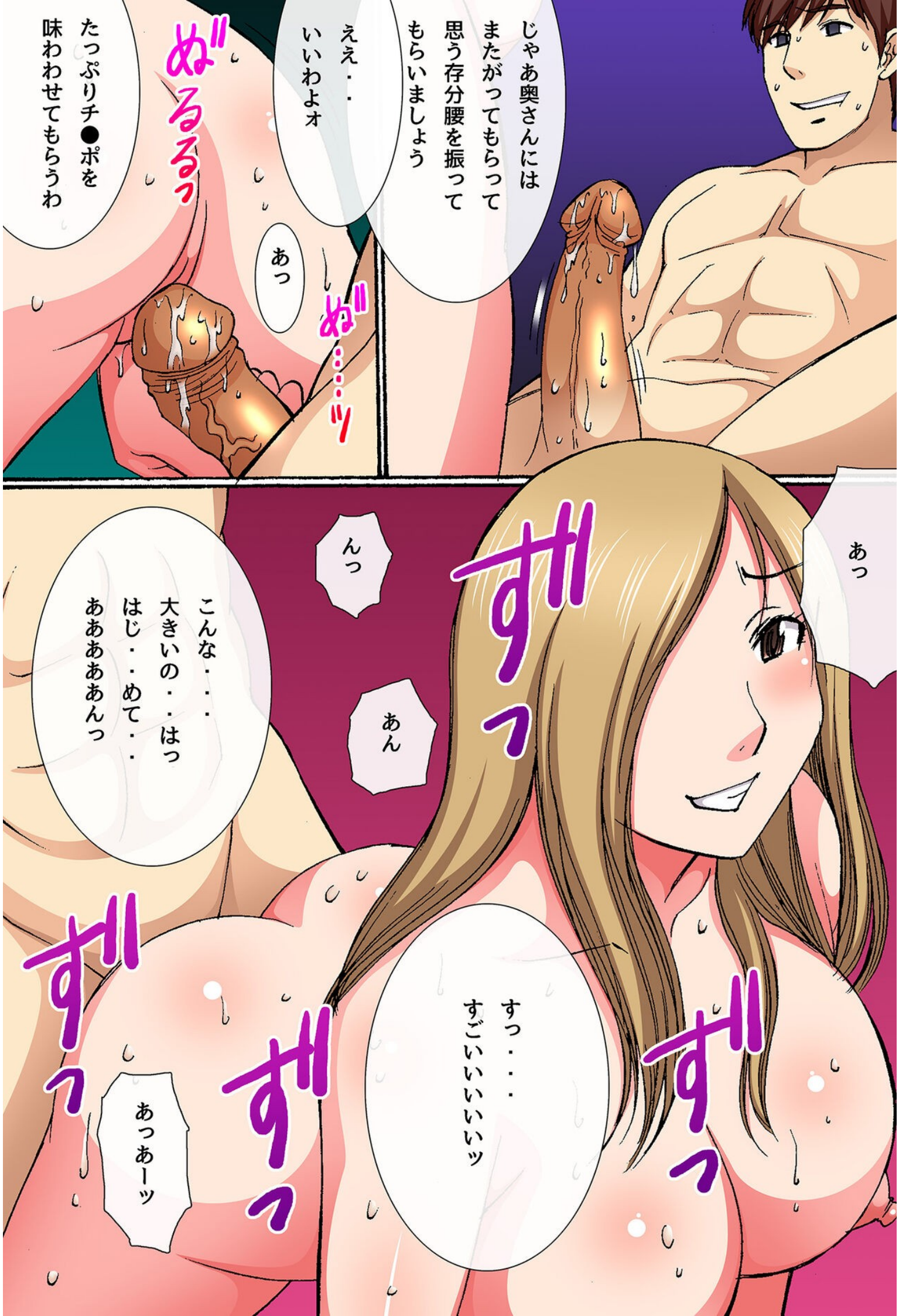

すみません
お先に挿入させて
いただいております
あっ
ひゃあっ
ズコ
ズコ
ズコ
ズコ
ズコ
ズコ
あっ
うっ


どうも、私
子作り促進課の
東條と申します
あ・・・はっ
はあ・・・
あんっ
あっ
ひーっ
あぁ
もうすぐ中出し
しますので少々
お待ちを・・
いいいっ・・・
イク・・チ●ポ
イクゥウッ
パーンッ
パパーンッ
パーンッ
パパパーンッ

あ！
ひっ
ビュ…ッ
ビュルッ
ビュブブブーッ
あああああーッ
う・・・わァ
すっ
すご・・・い
ぴゅっ
びゅるるっ
ぶぴっ
ぶっぴゅ～っ

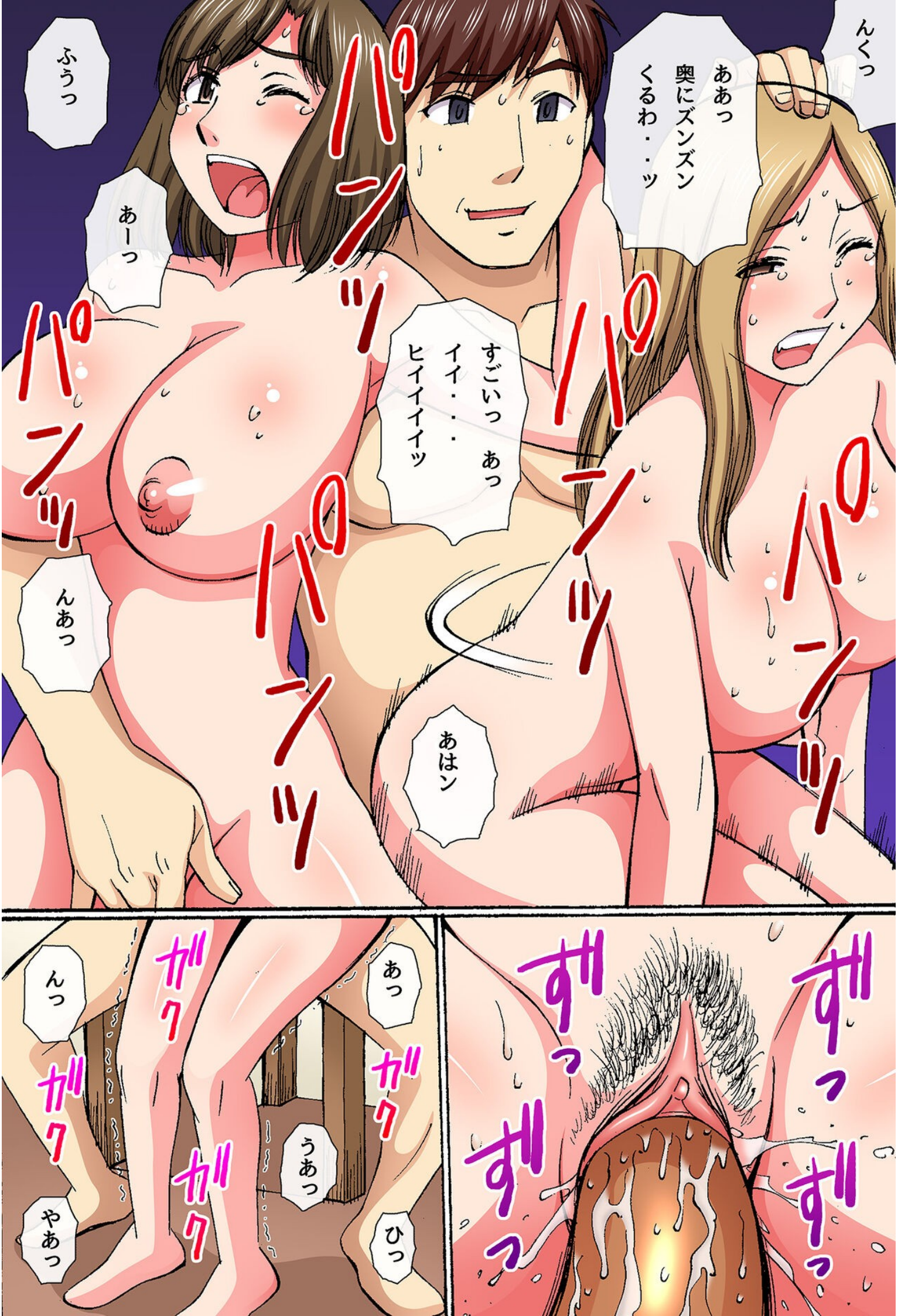

ぴゅっ
ぴゅっ
ずるっ
ではどちらから先に挿入いたしましょう？
びくっ
びくっ
え・・あっ
え～っとオ
やっぱり私は
今回はちょっとー
ちょっと芳子！
ここまできてまだ
そんなこと言ってんの？
息子の種無しで子供できないのを全部あんたのせいにしたあのクソ義理母を見返してやりたいんでしょっ！
でっ・・でも
やっぱり主人以外の人とするのは・・
じゃ・・・
あたしから先に
イカせてもらうわ
ダンナ以外のチ●ポ
なんて・・・久々に
ドキドキしちゃう・・

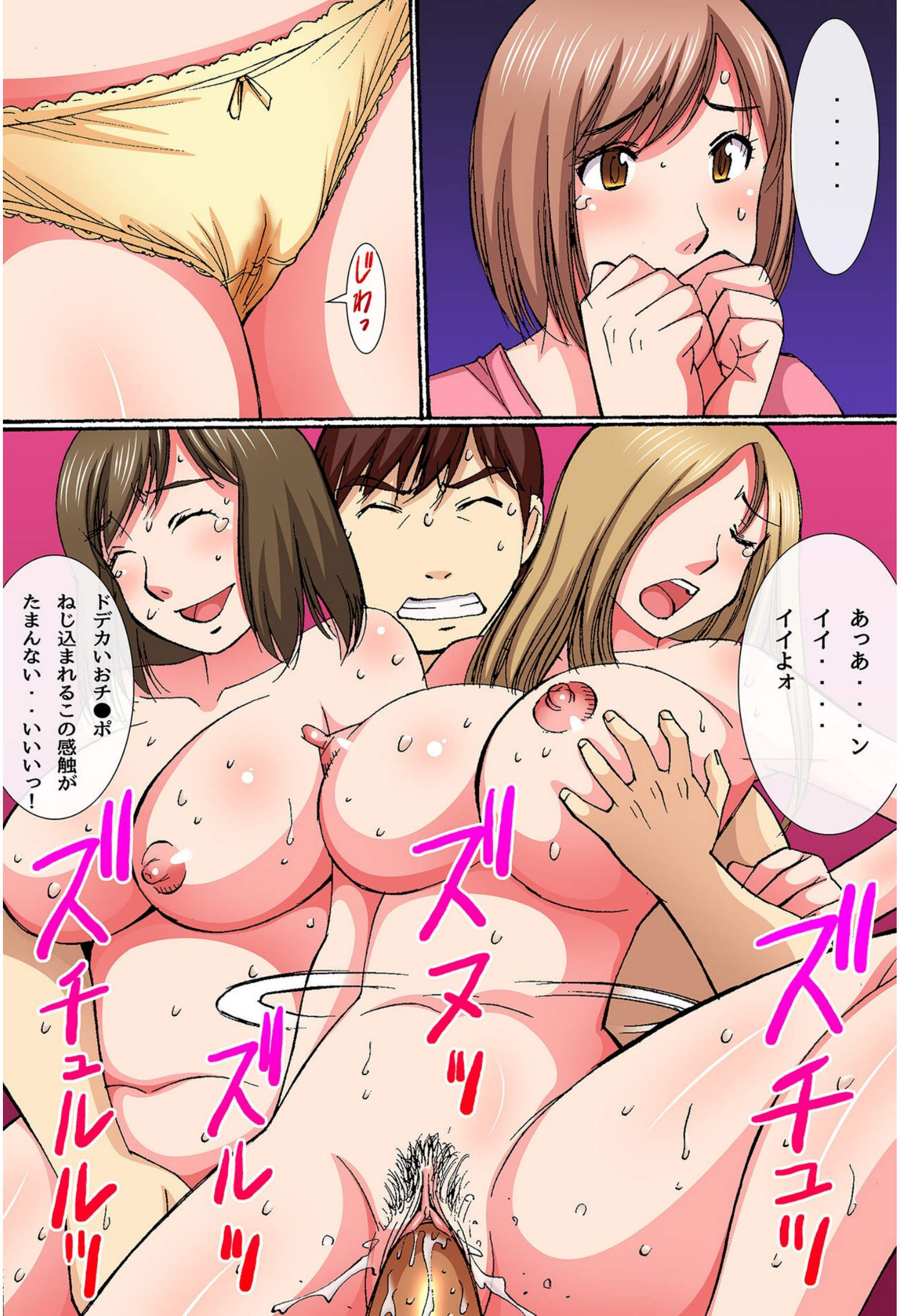

よろしくね
東條サン
なかなか大胆
ですね
奥さん・・・
するるっ
では失礼して
この邪魔な
布切れを・・・
あ・・・っ
おっ・・・と
もうこんなに汁が
滴ってるとは奥さんも
好きですね
ヌチョッ

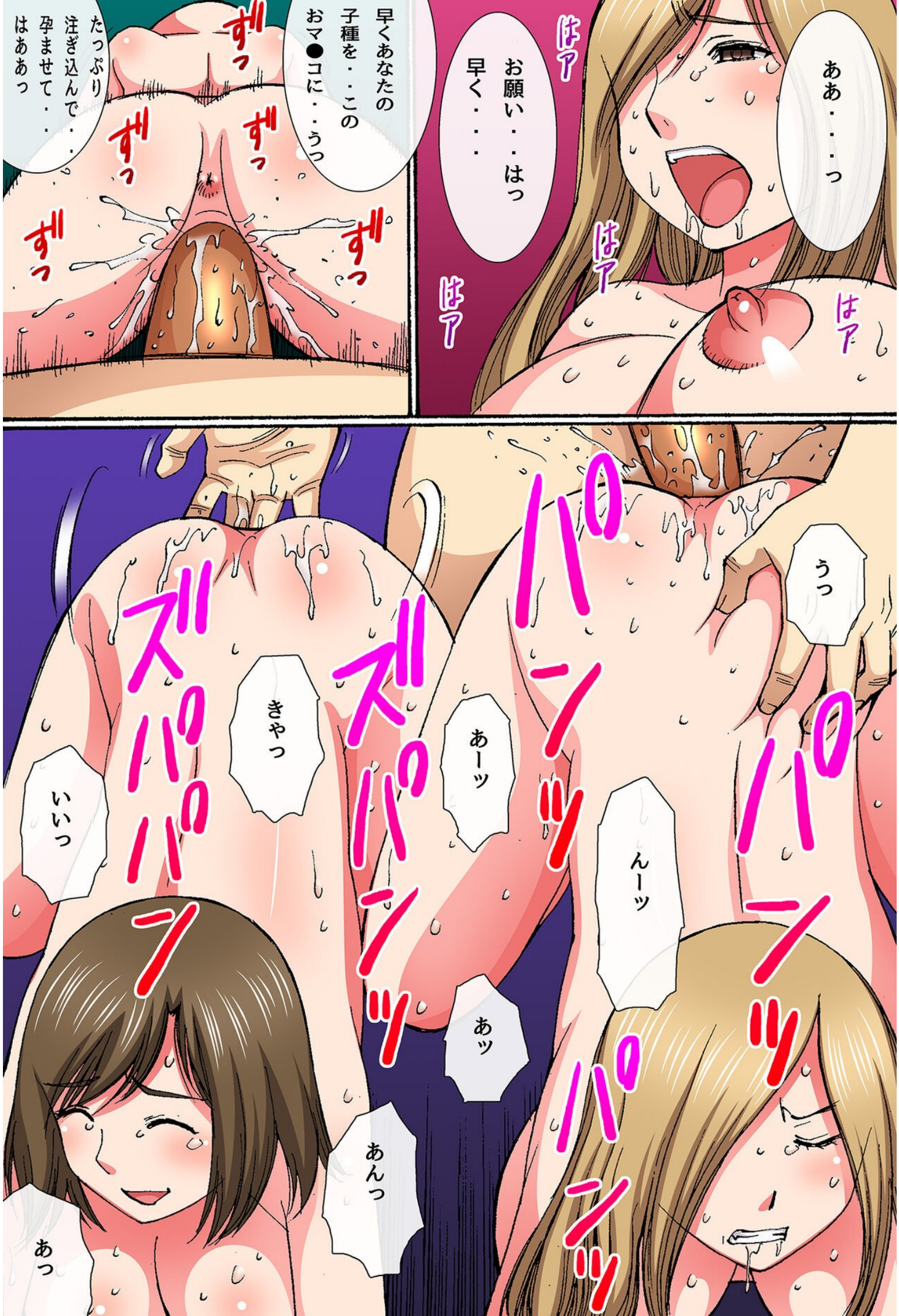

じゃあ奥さんには
またがってもらって
思う存分腰を振って
もらいましょう
ええ・・
いいわよォ
あっ
ぬ〃ぬ〃ぬ〃…ッ
ぬるるっ
たっぷりチ●ポを
味わわせてもらうわ
あっ
すっ
んっ
あん
こんな・・・
大きいの・・はっ
はじ・・めて・・
あああああんっ
すっ
すっ
すっ
すっ・・・
すごいいいいッ
あっあーッ

はっあああ・・
なんて気持ちイイの
あなたのチ●ポ・・・
ピストンされただけで
もう・・妊娠しちゃい
そオ・・・
ズコ
ズコ
ズコ

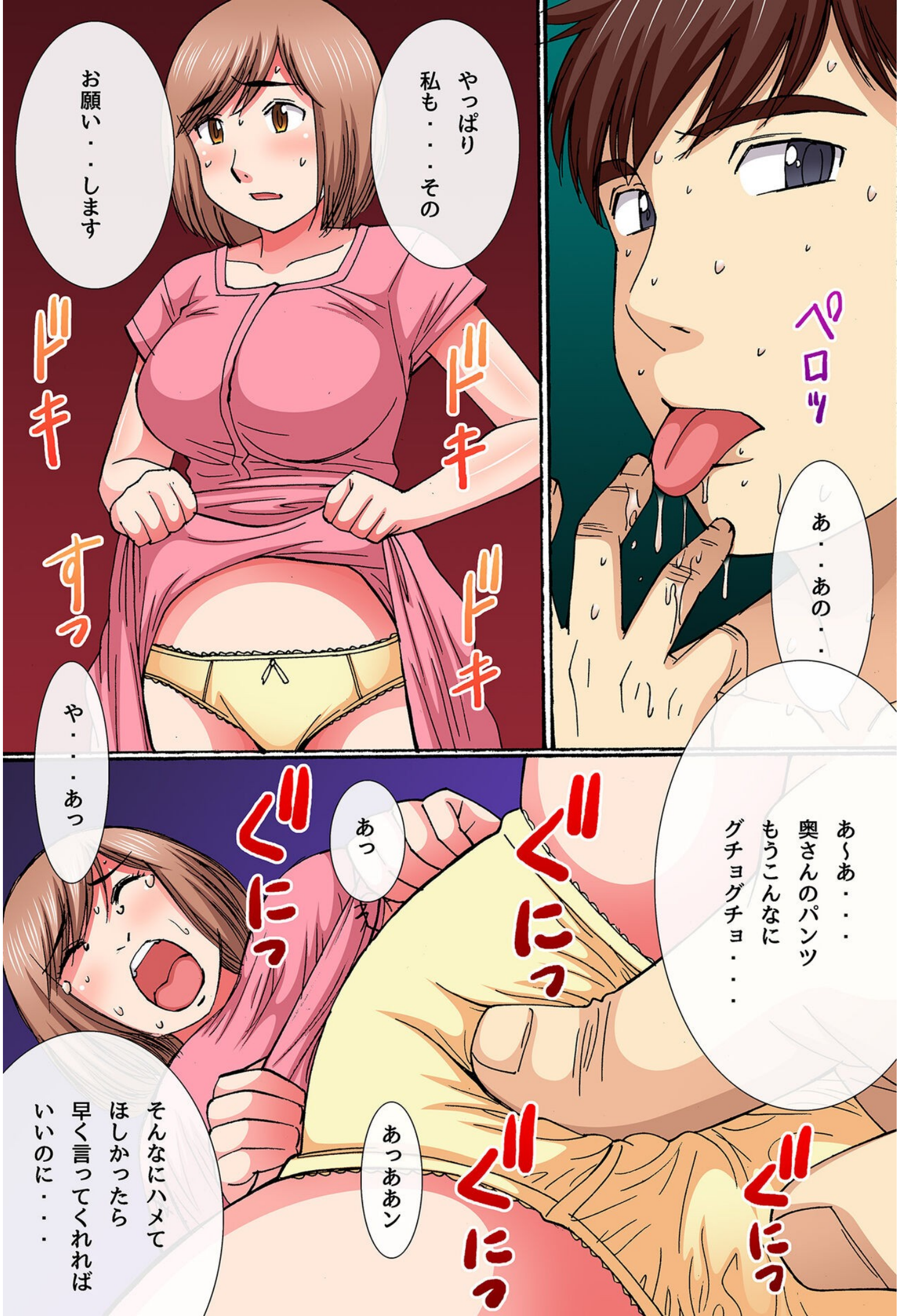
ねえ・・・東條さん
私まだ足りないわ
ズッ
ズッ
ズッ
もっとココに
ブチ込んで
欲しいの・・
くぱァ
ちゅくっ
ひいっ
すみません　今は
白川さんのマ●コに
ハメる番ですので・・・
ああ・・あんっ
私の指でちょっと
ガマンしてて
下さいね
あっ
あっあっ
あはっ
くちゅっ
にゅるっ
はァン
アアンッ


んくっ
ああっ
奥にズンズン
くるわ・・ッ
ふうっ
あーっ
すごいっ
イイ・・・
ヒイイイッ
あっ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
パンッ
んあっ
あはン
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ
あっ
ガク
ガク
ガク
ガク
んっ
うあっ
ひっ
やあっ


・・・・・・
じわっ
あっあ・・・ン
イイ・・・・・
イイよォ
ドデカいおチ●ポ
ねじ込まれるこの感触が
たまんない・・いいいっ！
ズチュッ
ズヌッ
ズルッ
ズチュルルッ

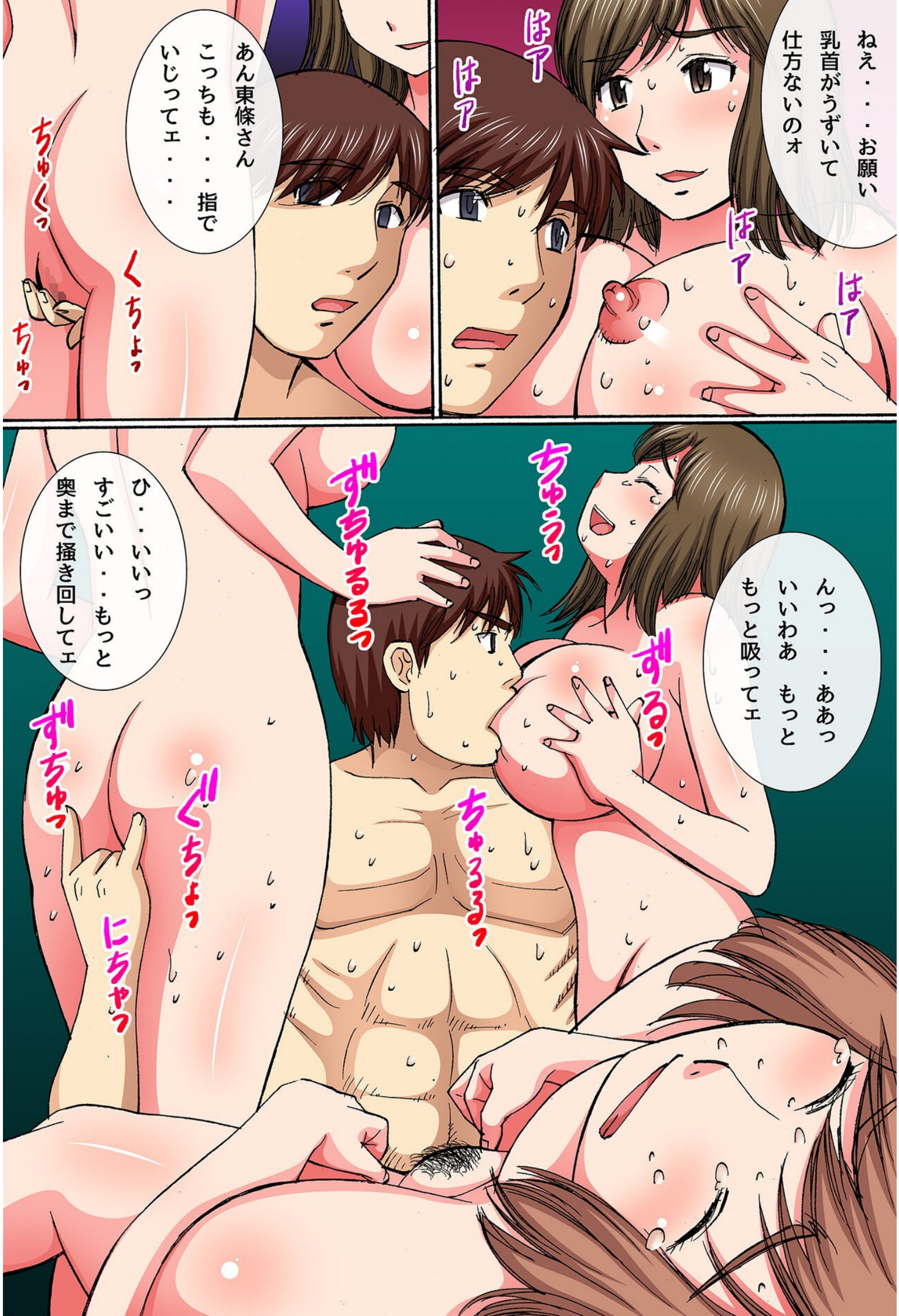

ああ・・・っ
はァ
お願い・・はっ
早く・・・・
はァ
はァ
はァ
早くあなたの
子種を・・この
おマ●コに・・うっ
たっぷり
注ぎ込んで・・
孕ませて・・
はああっ
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ
うっ
パーン
ズパーン
ズパパーン
んーッ
あーッ
きゃっ
いいっ
あッ
あんっ
あっ

ぴゅっ
ぴゅっ
ビュ…ッ
いひっ
あ…っ
ブピュピュッ
ビュププーッ
あっあああッ！
どくっ
どくっ
どくっ
どくっ
ひくっ
ひくっ
ひくっ
タラーッ

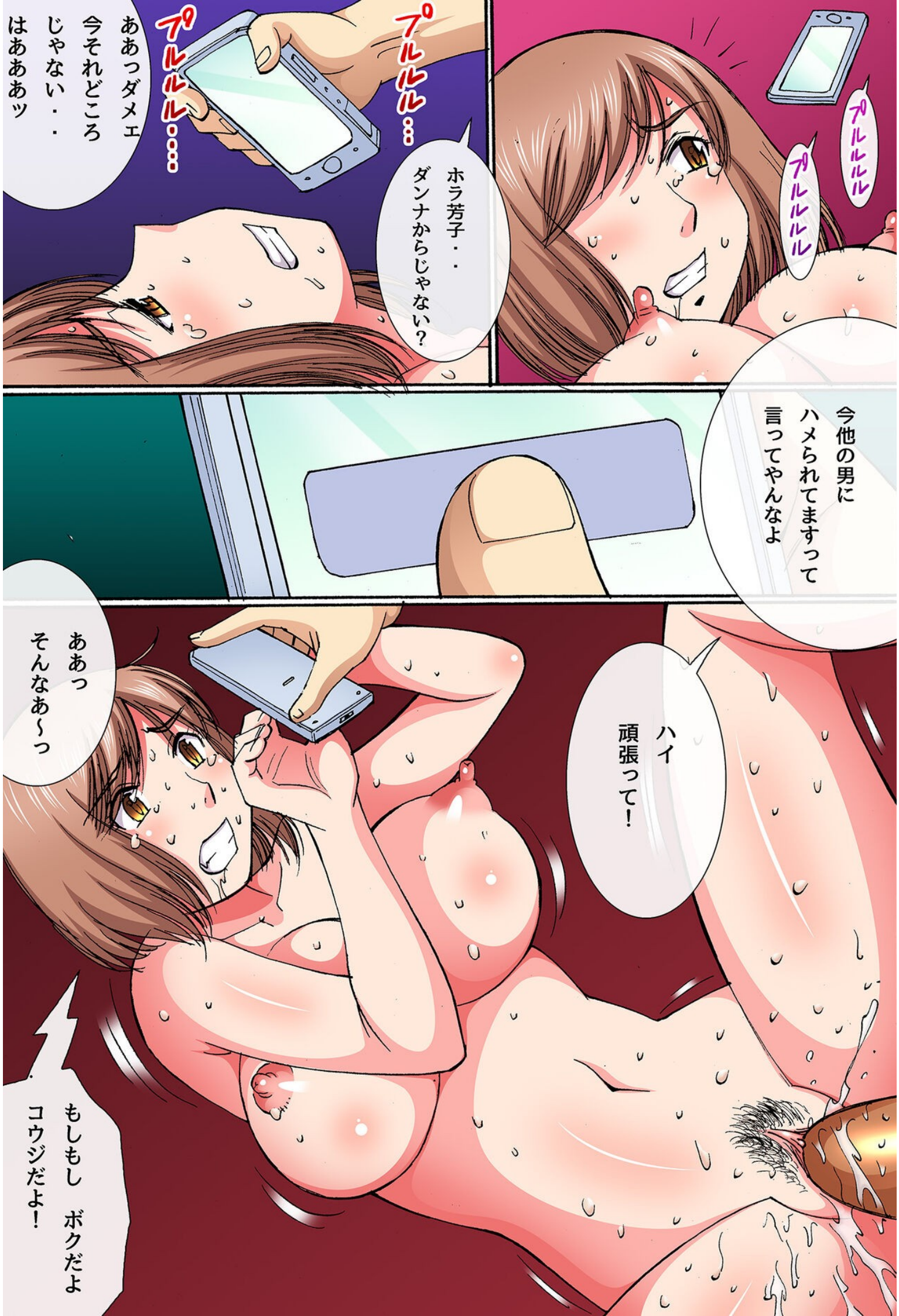

ペロッ
あ・・あの・・
お願い・・します
やっぱり
私も・・・その
ドキ
ドキ
ドキ
すっ
あ～あ・・・
奥さんのパンツ
もうこんなに
グチョグチョ・・・
くにっ
くにっ
くにっ
くにっ
あっ
あっあぁん
や・・・あっ
そんなにハメて
ほしかったら
早く言ってくれれば
いいのに・・・

見て下さい　ホラ
こんなにパンツから
滴ってる・・・
・・・・
そんな恥ずかし
がらなくても
いいんですよ
奥さん・・・・
あっ
グリ・・・ッ
グリリ・・・ッ
んっ・・・
は・・・んっ
ズギュルッ!!
・・・・・ッ!!
あーッ!!
今からもっと
恥ずかしい事
しますからね

ひいっ
いやッ
ダメ・・・こんな
スゴイの・・・あっ
マ●コ・・・・・
裂けちゃうっ!!
ああっ
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ
あっあああっ
イヤ・・・アッ
待って!
あーっ!
これだけヌルヌルなら
大丈夫ですよ
奥さん
グチュルッ
グチュッ
ズリュッ
グチュッ
あう
んっんんッ
ひっ
ううっ

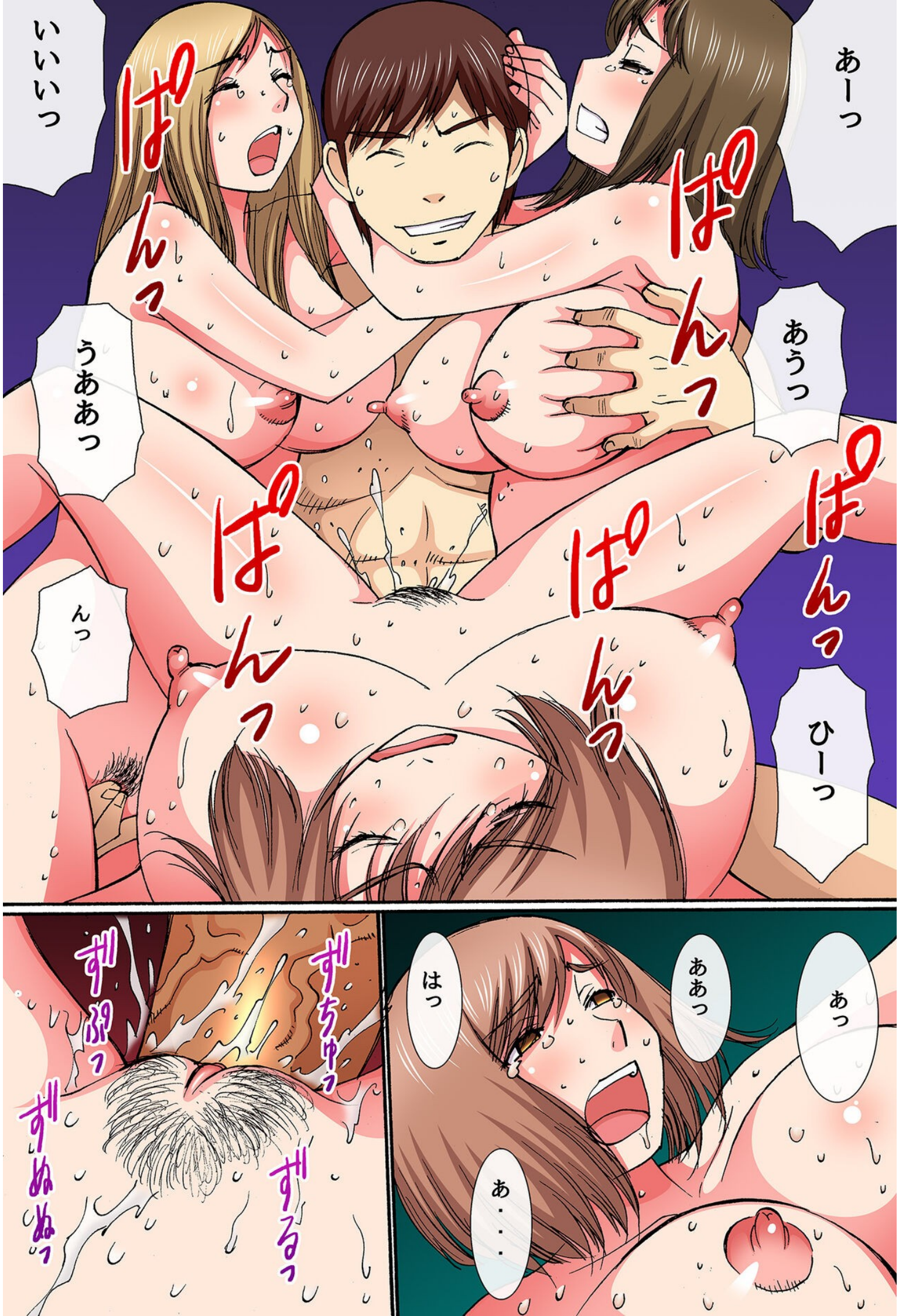

ねえ・・・お願い
乳首がうずいて
仕方ないのォ
はァ
はァ
はァ
はァ
あん東條さん
こっちも・・・指で
いじってェ・・・
ちゅくっ
くちょっ
ちゅっ
んっ・・・ああっ
いいわあ　もっと
もっと吸ってェ
ちゅっっ
ずちゅるるっ
ずるっ
ちゅるるっ
ひ・・いいっ
すごいい・・もっと
奥まで掻き回してェ
ずちゅっ
くちょっ
にちゃっ

ぢゅぽっ
ずちょっ
ずるるっ
ずっ
くちょっ
ちゃくっ
ぬるっ
ちゅっ
ねちゅっ


プルルルル
プルルルル
今他の男に
ハメられてますって
言ってやんなよ
プルルル…
プルルル…
ホラ芳子・・
ダンナからじゃない？
ああっダメエ
今それどころ
じゃない・・
はあああッ
ハイ
頑張って！
ああっ
そんなあ～っ
もしもし　ボクだよ
コウジだよ！

どっどうしたのコウジさん・・こんな時間に・・
はア
いつものアニメ予約録画忘れたからやっといてよ
はア
はア
あっ
ズプッ
ひいっ
ズチュ
んっ
ズリュッ
ん？オイ？ちゃんと聞いてる？
なんだァ　なんか変な声が聞こえるぞ何だこの音!?
すーっ
くうっ
んっ
すーっ
はあっ
すーっ
あんっ
すーっ
ご・・ごめんなさいなんか体調悪くなってきたみたいで・・・
ううう

もうすぐ奥さんの
マ●コにたっぷりと
中出しさせていただきますと
お伝えください
バカ・・・んっ
そんなこと言えるわけ
ないでしょっ・・もうっ
ズブブブッ
ズボッ
グチュボッ
ズッ
グチュルルッ
オイ なんだ?
今男の声が
しなかったか?
ご・・ごめんなさい
今忙しいから
もう切るわ・・
ま、待てよ
誰かいるのか?
誰か・・・
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ
ずっ
ヒッ


あーっ
いいいっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
あうっ
うあああっ
んっ
ひーっ
あっ
ああっ
はっ
あ・・・
ずちゅっ
ずぷっ
ずるっ
ずぬぬっ

うううっ
ヒュ…ッ
ヒュルルル

数ヵ月後
東條くん
仕事だ　また
頼むよ
はい！
すぐ行きます